取扱説明書

ＷＡＧＯ コモン端子台モジュール　『ＰＭ－ＰＷシリーズ』

製品を安全にご使用頂くために作業説明に従った正しい作業を行って下さい。
弊社コネクタ端子台シリーズは、接続される機器の回路等をよくご確認の上ご使用ください。

１．使用工具

◆７３９－３．５mmピッチ端子台用ドライバー工具

２１０－７１９　（絶縁タイプ）
２１０－１１９ＳＢ（国産ミニタイプ）

写真は 210-719

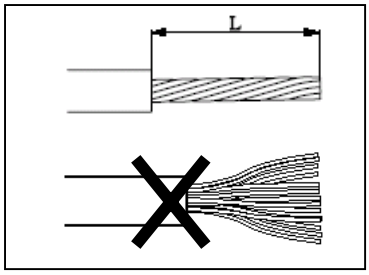
◆２５５レバー付き端子台用ドライバー工具（２５５シリーズは他の工具でもレバーが押せます）

２１０－７２０　（絶縁タイプ）
２１０－３５０／０１（国産ミニタイプ）

写真は 210-720

＊作業には必ず適正な寸法，形状の操作ドライバーをご使用下さい。

２．電線のむき出し



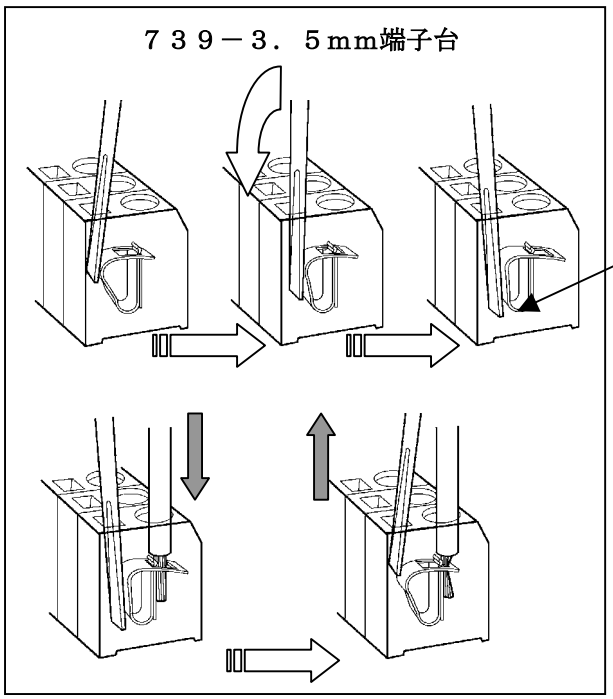
①必ず規定のむき出し長さ（L）を範囲内にして下さい。
＊ 端子台規定むき出し長（L）と接続電線サイズ

７３９－３．５㎜ピッチ端子台
電線むき出し長さ　：5～6㎜　電線サイズ：0.08～1.5㎜²

２５５レバー付き５㎜ピッチ端子台
電線むき出し長さ　：5～6㎜　電線サイズ：0.08～2.5㎜²

②素線にバラケ・曲がりがある場合は修正して下さい。

３．結 線 作 業

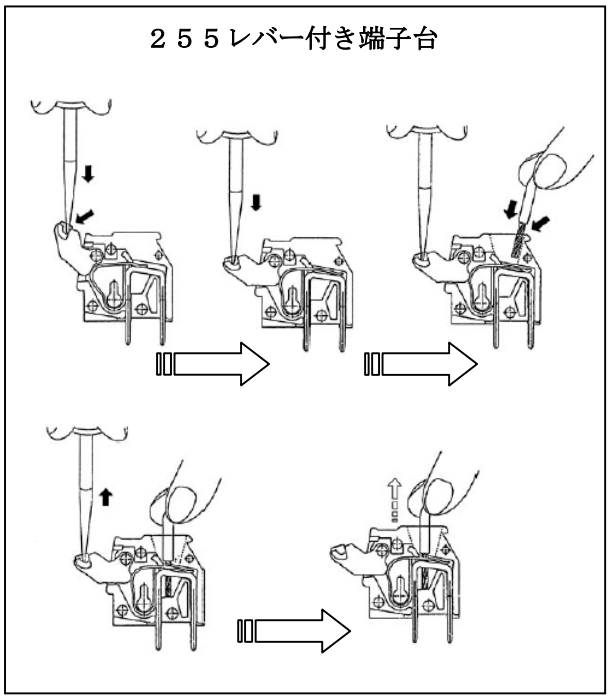


①操作ドライバーを操作穴に差し込み、
スプリングを開きます。
左図のようにドライバーを斜めにあてて
から、一気に突き刺すように差し込むと
スムーズに開きます。
ドライバーはカチッと保持されます！

②電線を接続穴にゆっくりと先端が突き当たる
位置まで挿入して下さい。
細径の電線では押し込み過ぎによる被覆の
噛み込みに注意して下さい。

③ドライバーを外すと電線はスプリングで
クランプされます。

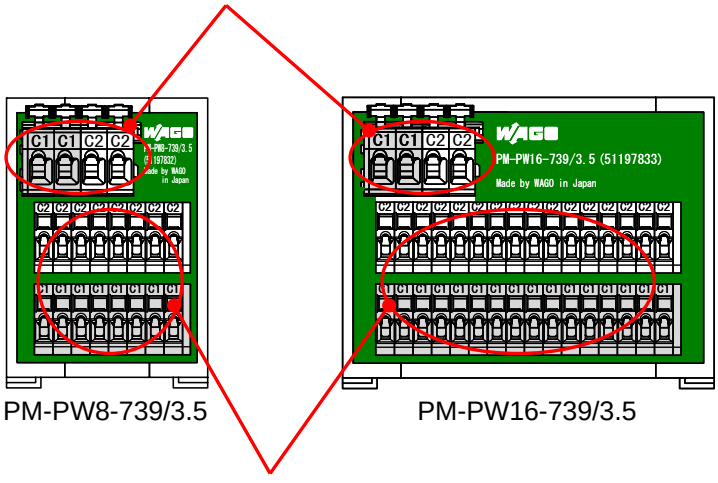
④電線を軽く引っ張り確実に結線されているか
確認して下さい。



①ドライバーを操作レバーのスリットに押し当てます。
②レバーがハウジングに当たるまで押します。
ドライバーの刃先がきちんとレバーの中心付近に当たっていないとレバーが破損する可能性があります。
レバーの端ではなく中心付近を押すように作業して下さい。
またレバーがハウジングに当たる位置まで達したらそれ以上押さないで下さい。
無理な力を加えるとレバーが破損する可能性があります。
③正しく剥きだした電線を電線口に差込ます。
④電線を奥に突き当たるまで差し込んだら、電線を押さえたままドライバーを押してる力を緩めて下さい。
⑤確認の為電線を軽く引っ張って下さい。
（強く引っ張らないで下さい）

４．端子台の種類

２５５レバー付き端子台



PM-PW8-739/3.5　　PM-PW16-739/3.5

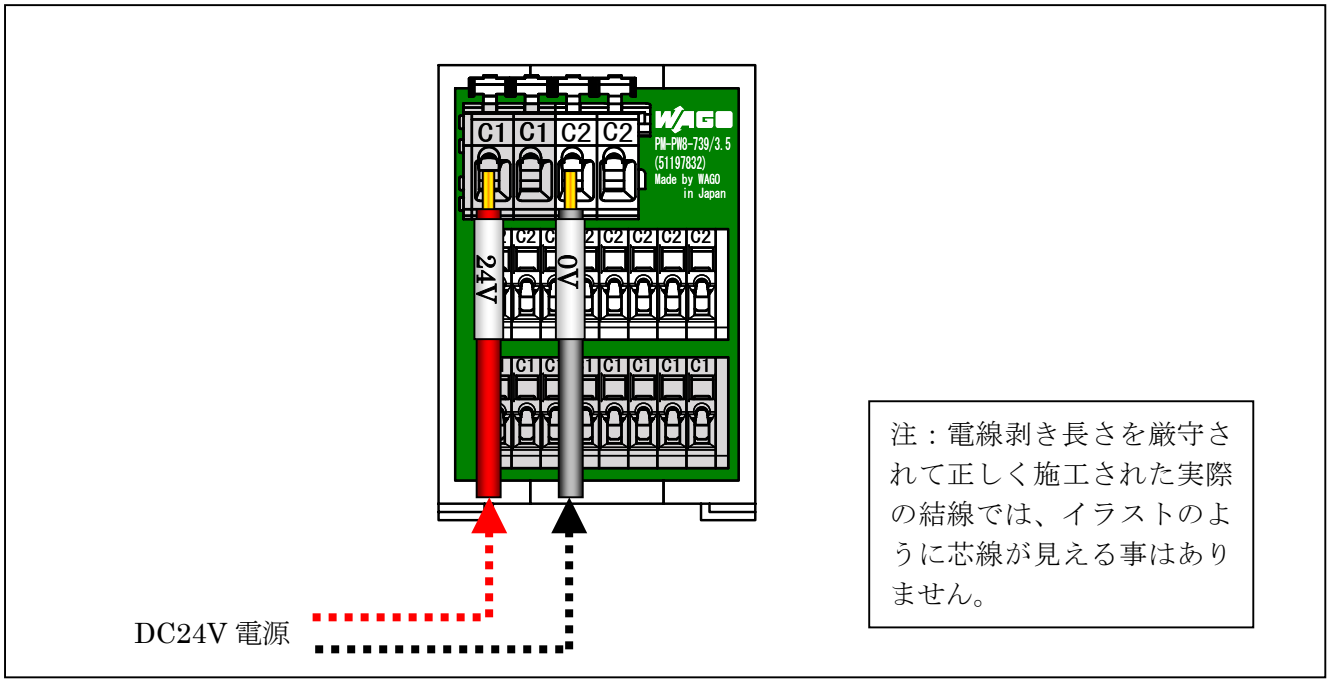
７３９－３．５ｍｍピッチ端子台

『ＰＭ－ＰＷシリーズ』には２種類の端子台が搭載されています。
それぞれ結線方法が異なりますのでご注意下さい。

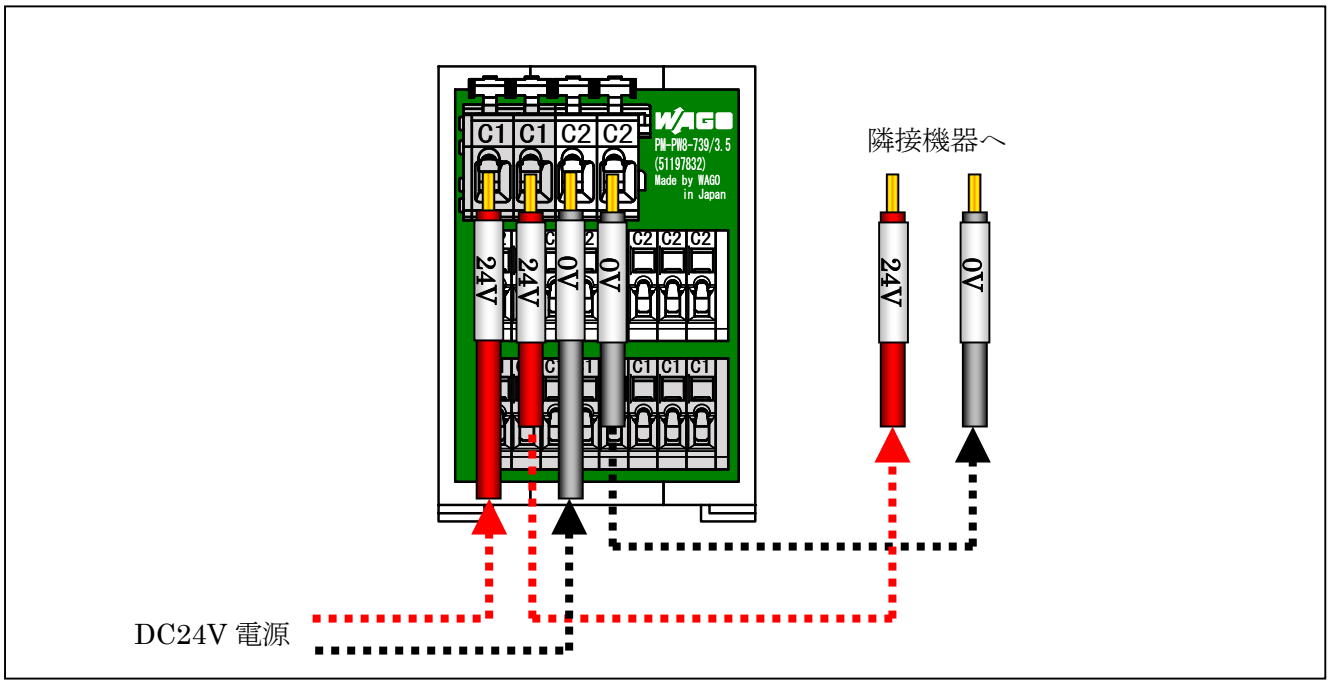
５．コモン端子台モジュールの使い方

５．１．「２５５レバー付き端子台」

コモン端子台モジュールの左上には２５５レバー付き端子台が搭載されています。
端子台にはそれぞれ「Ｃ１（グレー）」「Ｃ２（ライトグレー）」のマーカーがあります。

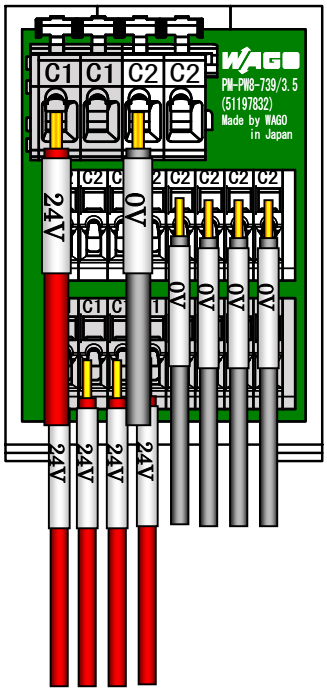


２５５レバー付き端子台にはそれぞれ「Ｃ１」「Ｃ２」が２個ずつありますので、隣接のモジュールに電源を渡す事が可能です。

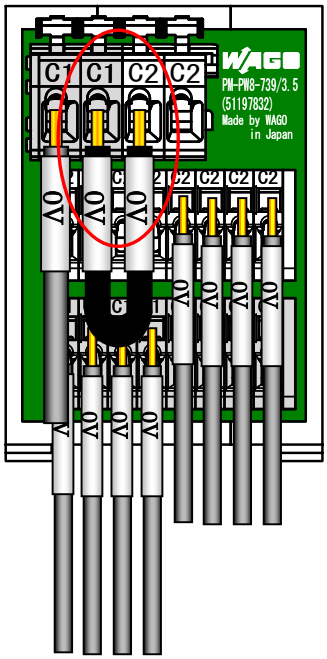


５．１．「７３９－３．５ｍｍピッチ端子台」

コモン端子台モジュールの中段及び下段には７３９－３．５ｍｍピッチ端子台が搭載されています。
２５５レバー付き端子台に合わせて「Ｃ１（グレー）」「Ｃ２（ライトグレー）」のマーカーがあります。



「Ｃ１」に「24V」、「Ｃ２」に「0V」を接続した例です。
センサの電源用途や制御盤内の電源分岐に便利です。



２５５レバー付き端子台の「Ｃ１」と「Ｃ２」を接続して、全て「0V」にした使用例です。
装置内のリミットスイッチ用電源の分岐や、押しボタンの電源分岐などに便利です。

ご不明な内容等ありましたら下記の事業所にお問い合わせ下さい。

ワゴジャパン株式会社　　本　　社　東京都江東区亀戸 1-5-7 日鐵 ND タワー
Tel:03-5627-2050　Fax:03-5627-2055

Ver.1.2